

武里南部地域 学校再編
施設整備 基本計画



平成 29 年 3 月 28 日

春日部市教育委員会

～ 目 次 ～

1. 学校施設整備の基本的な考え方	・・・・・・・・・・ P1
2. 既存施設の概要	・・・・・・・・・・ P2
3. 既存校舎の現況	・・・・・・・・・・ P4
4. 既存施設の基本計画	・・・・・・・・・・ P6
5. 今後のスケジュール（案）	・・・・・・・・・・ P8
6. その他	・・・・・・・・・・ P8

1. 学校施設整備の基本的な考え方

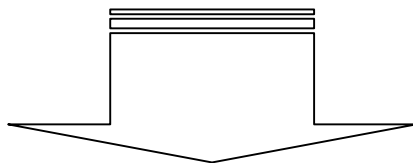
新設中学校については、以下の考えに基づき中野中学校の既存施設の整備を行うものとする。

1) 安全・安心な施設に向けた整備

- ①長期間にわたって安全に安心して使用できる施設とする。
- ②災害に対して安全な施設とする。
- ③生徒や教職員、保護者等が使いやすい施設とする。

2) 学校環境の向上を図るための整備

- ①学校生活を快適に過ごすことができるよう環境整備を行う。
- ②学習の場、生活の場の基本となる普通教室の環境整備を行う。



平成31年4月1日の開校に向けて

1. 施設の現況を詳細に調査する。
2. 学校運営で必要となる環境整備について学校と協議・検討を重ねる。

⇒教育環境の充実を図れるように、基本的な考え方に基づいた施設の改修設計を進める。

2. 既存施設の概要

中野中学校の主な施設は、昭和53年建築の普通教室棟や管理特別教室棟、昭和54年建築の体育館があり、いずれも耐震補強を行なったことで耐震性を備えた施設となっている。

《近年の工事履歴》

①普通教室棟

- ・平成26年度 耐震補強工事、屋上防水や外壁改修及び廊下や内壁の一部改修
- ・平成28年度 普通教室にエアコン整備

②管理特別教室棟

- ・平成27年度 耐震補強工事、外壁のひび割れ等の補修（屋上防水・外壁塗装部分改修）及び職員室の改修

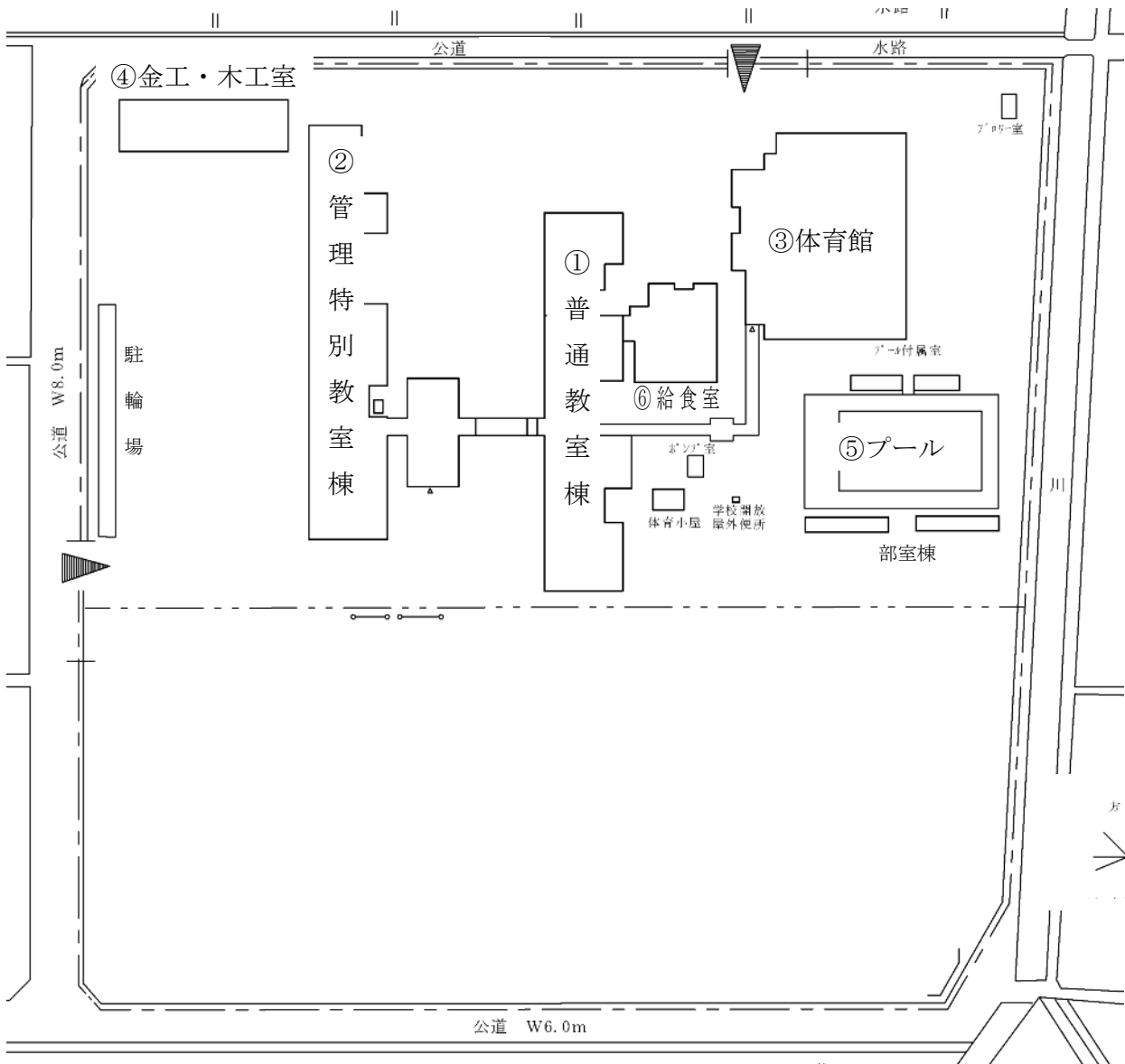
③体育館

- ・平成23年度 耐震補強工事、屋上防水や外壁改修、内壁の一部改修
- ・平成25年度 トイレの全面改修
- ・平成27年度 吊下げ式照明やバスケットゴールなど高所に設置された設備の耐震対策工事（落下防止）

《主な施設の概要》

施設名	建築年月	延面積	構造・階数	備考
① 普通教室棟	昭和53年8月	3,354 m ²	鉄筋コンクリート造・4階建て	平成26年度耐震補強工事
② 管理特別教室棟	昭和53年8月	2,466 m ²	鉄筋コンクリート造・3階建て	平成27年度耐震補強工事
③ 体育館	昭和54年2月	1,087 m ²	鉄骨造・1階建て	平成23年度耐震補強工事
④ 金工・木工室	昭和63年2月	269 m ²	鉄骨造・1階建て	新耐震基準
⑤ プール	昭和54年7月	—	鉄骨造	
⑥ 給食室	平成元年7月	307 m ²	鉄筋コンクリート造・2階建て	新耐震基準

《施設配置図》



3. 既存施設の現況

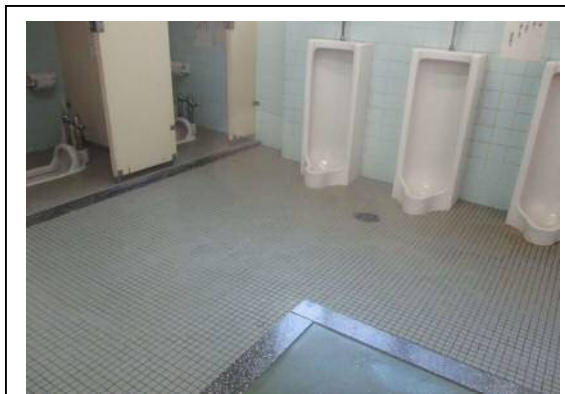
1) 教室

- ・普通教室では、現在使用されている部屋のみエアコンが整備されている。



2) トイレ

- ・トイレ内に段差等がありバリアフリー化されていない。
- ・和式便器が多く、便座式便器が少ない。



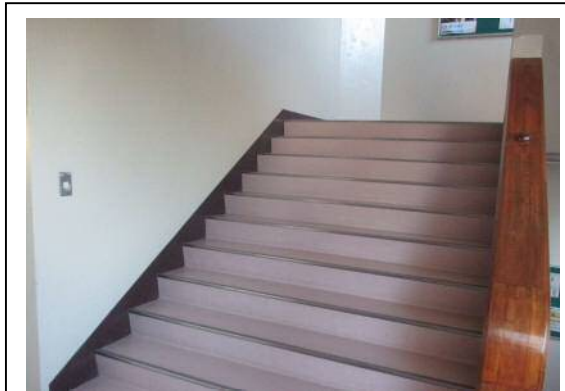
3) 耐震対策

- ・校舎の地震時に大きく揺れる吊下げ式照明等、耐震対策が実施されていない。
(体育館の耐震対策は平成27年度に完了)



4) 階段

- ・全てに手すりが設置されていない。



5) 昇降口

- ・生徒の増加に対しての施設数量が対応していない。
- ・昇降口へのアプローチ等のバリアフリー化がされていない。



6) 内壁・天井

- ・壁の塗装が部分的に剥離している。



7) 建物外周部

- ・管理特別教室棟の屋上防水や塗装が部分改修となっている。



4. 既存施設の基本計画

中野中学校の既存施設は、新設される中学校の想定生徒数（クラス数）に対応した校舎規模を保有していること、また耐震補強工事等により耐震性を有していることから、既存施設の改修等による教育環境の整備を行っていく。

既存施設の改修にあたっては、以下に示す改修内容について施設の現況を詳細に調査した上で、学校運営で必要となる環境整備について学校と協議・検討を重ね、設計を進めていくものとする。

1) 安全・安心な施設に向けた整備

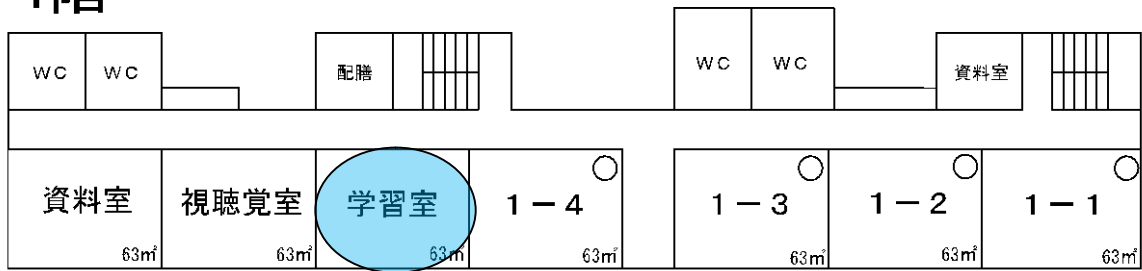
- ・長期間にわたって安全に安心して使用できるように管理特別教室棟の屋上防水、外壁塗装工事を行なう。また、校舎内の劣化した内装について部分的な補修を行う。
- ・災害発生時に安全な施設となるように、吊下げ式照明器具などの設備について落下防止のための耐震対策を行う。
- ・生徒等が使いやすい施設となるように階段の手すりの設置、昇降口へのスロープの設置、トイレのバリアフリー化を行う。

2) 学校環境の向上を図るための整備

- ・生徒数や各部屋の配置を検討し、トイレの洋式化を行う。
- ・学級数の増加に伴い、エアコンが未設置となっている教室へのエアコンの整備、下駄箱の整備を行う。
- ・普通教室内の黒板やロッカーなど老朽化した設備の改修を行う。

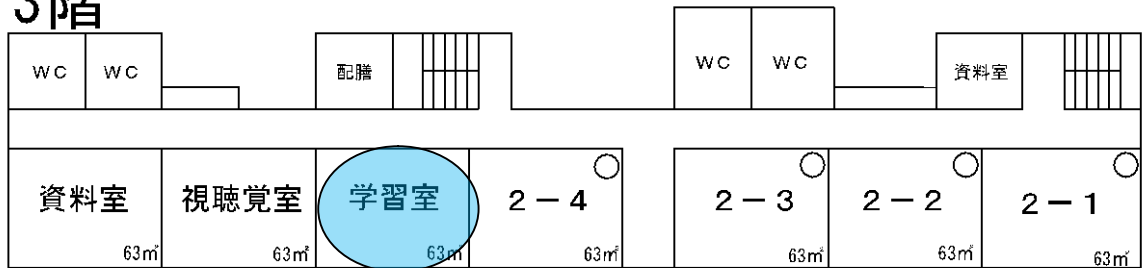
《普通教室棟 平面配置》

4階

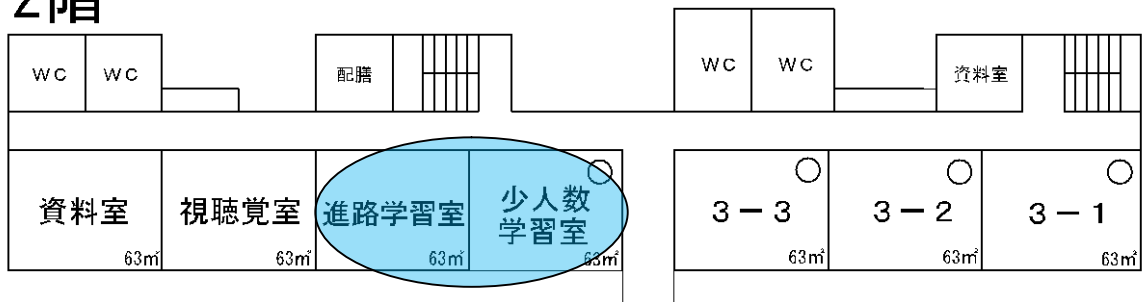


※○の付いている教室はエアコン有

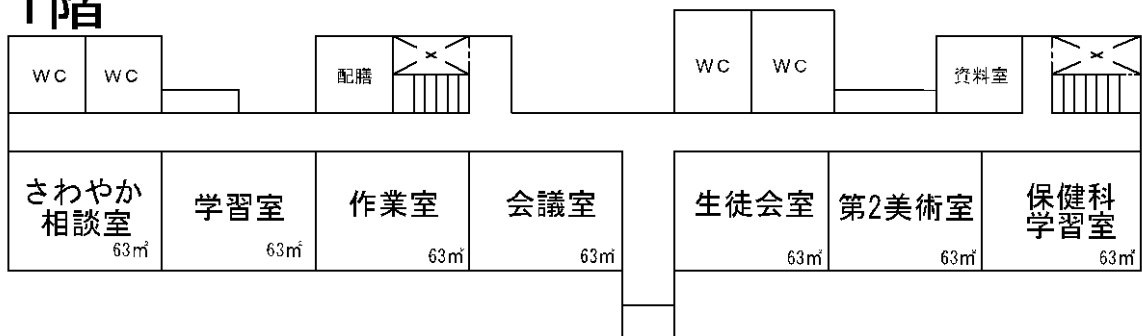
3階




2階



1階



※は学級数の増加により教室に整備する部屋。

※部屋名は、現在の使用状況を示す。

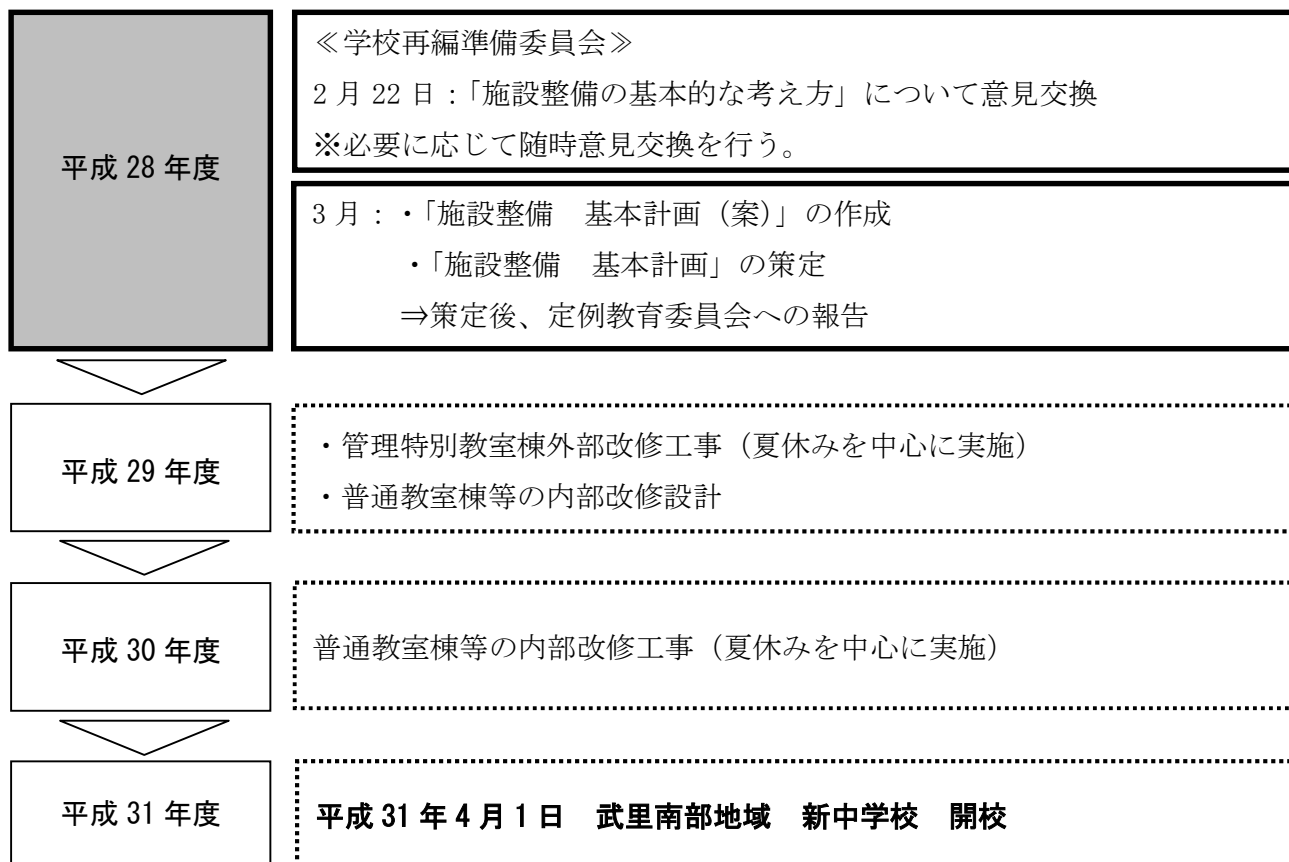
※教室の配置により、現在ある諸室（進路学習室・少人数学習室等）を移動する場合は、部屋の機能を維持できるように計画する。

※管理特別教室棟の部屋の配置について変更の予定はない。

※特別支援教室については、今後、学校と協議、検討をする。

5. 今後のスケジュール（案）

平成31年4月1日の開校に向けて、以下のスケジュール（案）で施設整備を進めていくものとする。



6. その他

1) 学校敷地

国の「中学校設置基準」では、生徒数に応じた校庭の必要面積が示されており、平成31年4月1日の開校時点で見込まれる生徒数555人（※）から校庭の必要面積を算出すると6,750㎡となる。

現在の中野中学校の校庭面積は11,337㎡あり、新設中学校における教育活動について支障なく行えるものと考えられるため、学校敷地の拡張は行わないものとする。

なお、特色ある学校づくりを進める中で、学校敷地の拡張が必要となった場合には、費用対効果、学校教育の将来的展望などを踏まえた検討を実施する。

※武里南部地域学校再編計画策定時の想定人数

2) 施設整備

既存施設の改修による環境整備を行い、今後、特色ある学校づくりを進める中で、新たな施設整備が必要となった場合には、費用対効果、学校教育の将来的展望などを踏まえた検討を実施する。